



だてなりクン

みやぎの明治村 とよま資料館だより

登米市歴史資料館・高倉勝子美術館
発行/株とよま振興公社
〒987-0702
宮城県登米市登米町寺池桜小路2-1
Tel: 0220-52-5566
Fax: 0220-52-2630
http://toyoma.co.jp
発行日: 令和7年7月17日



《 教育資料館編 》 第17号

学童集団疎開と登米町

今年は「太平洋戦争終戦」から80年になりますので、教育資料館東側二階の沿革教室で企画展「学童集団疎開と太平洋戦争終戦から80年」を開催しています。この企画展は「戦争」について、改めて考えていただきたいと思い企画しました。

今、世界に目を転じますと、至る所で「内戦」、「紛争」や「戦争」が行われています。私達は、茶の間に居ながらにして、その状況を目にしていますが、わずか80年前の日本でも大都市や



図1: 沿革教室
企画展「学童集団疎開と太平洋戦争終戦から80年」

軍事施設のあった都市などは「空襲」の被害を受け、人々は「防空壕」に避難をしたり、あるいはまた、多くの人達が死傷しました。特に広島や長崎は原子爆弾が投下され、大勢の市民の方々が犠牲となりました。今でも、原爆症の被害に苦しんでいる人達がいます。

今回の資料館だよりは主に「学童集団疎開」について、取り上げます。図1は「学童集団疎開」に関する資料を展示している沿革教室の写真です。

図2は昭和19年（1944）6月28日に閣議決定された「学童疎開促進要綱」の決裁文書です。この要綱が決定されたことにより、大都市の児童が両親等の縁故を頼って疎開したり、縁故疎開できない国民学校初等科の3年生から6年生までの児童達の多くは先生方と一緒に田舎の町村へ集団で疎開することになりました。

当初、国は家族制度の崩壊と戦意の喪失を恐れ、疎開には消極的であったと言われています。ただし、大都市が空襲されるようになり、同20年（1945）3月には「学童疎開強化要綱」が閣議決定され、国民学校初等科の1・2年生も縁故疎開・集団疎開が強力に推進され、親元を離れることになりました。東京都杉並区桃井第三・四国民学校の児童は、旧登米郡登米町（現登米市登米町）と米谷町（現同市東和町）に集団疎開をしました。

「学童集団疎開」は同年11月まで続きましたので、長く疎開をした児童は1年2ヶ月間登米町や米谷町で疎開生活を過ごしたことになります。

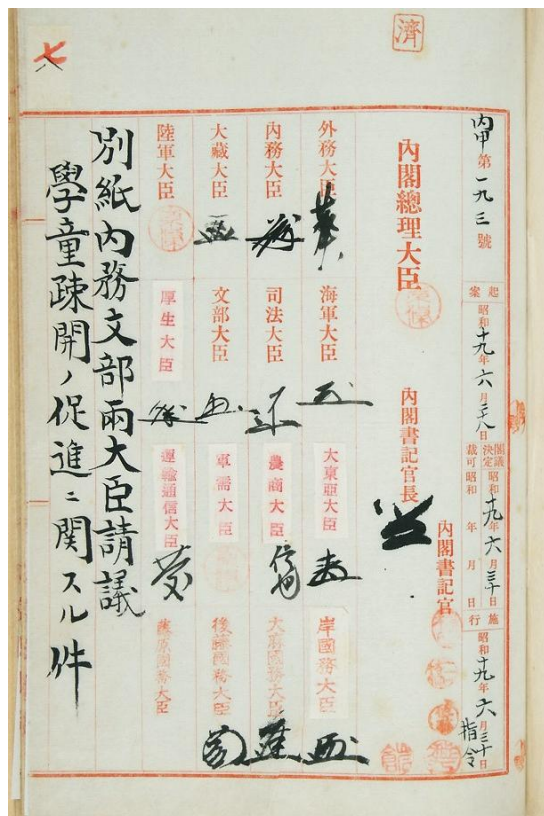


図2: 「学童疎開促進要綱」
所蔵: 国立公文書館

裏面もご覧下さい



図3:仙北鉄道登米線 登米駅(昭和3年仙北鉄道互助会記念写真帳より)
写真:とよま振興公社所蔵

図3は仙北鉄道登米線（登米～瀬峰間）の登米駅の写真です。

昭和19年（1944）に杉並区立桃井第三・第四国民学校の児童250人、同20年（1945）には445人の児童が疎開しています。

児童は前日の夜に上野駅を出発して、東北本線瀬峰駅から軽便鉄道と呼ばれる汽車に乗り換えて、翌日昼過ぎに登米に到着していますので、今とは隔世の感があります。

図4は、杉並区立桃井第三国民学校訓導（現在の教諭）だった中田重三郎氏が、終戦後50年を記念して平成7年（1955）に発行した書籍「学童疎開」の中の一文を転載したものです。

この書籍から、月に一度か二度「おばさんの家の日」と呼ばれる制度があったことや「桃三が北上川のほとりにあったとき（ジュニア版）」には疎開先が登米郡登米町及び米谷町に決定したのは、「くじ引き」だったことも書いてあります。

また、平成6年に登米町から桃井第三・第四小学校へ呼びかけを行い、同7年9月16～17日の「とよま秋祭り」に合わせて、「戦後50年学童疎開歓迎の集い」を行い、123人の方に参加をいただき、思い出話に花を咲かせました。

同ばーだろ担か 結帰まる従数 庭し招い
じたおけう当つこ果つで。つはどのて待う町
。で茶だにのたのがて遊昼て一こ味、しのの
枝おつがも作。ー現来ん食割人のをてが人々
豆茶コ休や業ーおれるで後当と家と日くで々
でを召まり員日ばる。帰、てかにいそれきたの
あごしせよも休さ者心るじ、二誰うののた。好
る馳あてう休養んも配子き朝人、の家と。意
。走がやがみがのいなどに食とこがのい疎
此にれれななど家た。のも帰後かのね家う。開
のな。る。いしれ。はもつ、家ら族。見
地る。なるの。食いてそ家にいとご童を「お
方。と私此の。お。べる。来れのはな親馳をば
のお呼ものだ寮か。過。るぞご二のし走一さん
枝茶ば隣日か母げ。ぎ。み子れ都人だ。む。用、の家の
豆受け組だらさで。んもの合、い意二家の
はけるのけ、ん、翌なあ家のあ。わし人日
うは。家は休も寮。日大れに人の。ばてと
ま何困々、暇、は、喜ば行数家。飲一
い処炉で昼を食助。そび夕かには、飲
。も裏 間や事 ので方せ 人 家待日と

8

おばさんの家

図4:中田重三郎著「学童疎開(集団疎開)より」
資料提供:杉並区立桃井第三小学校

次号の告知

次号は《警察資料館編》で、12月に発行予定です。

警察の役割は時代と共に大きく変化してきました。その流れの一端を紹介します。

イベント情報

8月2日(土)、午前10時30分から教育資料館で「登米市の北上山地の特異な地層」説明会を開催します。「隕石」や「化石」に直接に触れていただくことにしています。定員は25名で先着順です。

編集後記

戦争の悲惨さは筆舌に尽くしがたい状況と想像できますが、高倉勝子美術館に常設展示している「原爆の図」は、広島で被爆をした勝子氏の体験に基づいて描かれた絵です。

これを機に、ぜひ、美術館にも足を運んでいただきたいと思います。 鎌田



“みやぎの明治村”SNS 随時更新中です！ チェックしてみてください。